

# 令和3年度の

## 感染症対策委員会の動き

北区医師会感染症対策委員会委員長 田淵義勝

私ども北区医師会長就任後の初仕事として感染症対策委員会（以下感染委）を2018年（平成30年）9月9日8（土）に耐性菌問題をテーマとして開催いたしました。2020年1月新型コロナウイルス上陸によって3年のうちほとんどコロナに翻弄されてきました。

令和2年分は昨年の当会会誌にて詳しく述べておりますが、令和3年も以下に述べるようにコロナに終始しました。

もともとこの委員会（感染委）という母体があったため、組織を新たに構成する必要なくスムーズに協議することができたのはよかったと思われず。すなわち理事会を中心とする縦割りに対して、横断的に感染症に見識ある会員を組織化できたからである。その場での情報共有のみならず理事会へ、病診連携会、事務広報会議へ反映することができ、ひいては全会員への知識の共有化、勸奨ができたことはよかったと考えます。

令和3年は第9から13回まで5回開催いたしました。以下、各々の内容について述べます。

第9回感染委は第3波が収まりつつあった1月28日（木）に開催されました。

◇新型コロナウイルス感染症に関して

・各病院の状況

現在の状況について各病院から報告があった。

・検査診療機関について

本出肇副会長から報告を行ない、各種検査の状況について

委員からも報告があった。

・ワクチンについて

医療従事者向け先行接種に関しての行政の動きなどについて私どもから報告した。

また、各病院での準備の状況や対応について意見交換を行なった。

第10回感染委は大阪府にとって事実上医療崩壊となった第4波の真っ只中の4月22日（木）に開催されました。

新型コロナウイルス感染症に関して

◇北区医師会からの現状報告（本出肇副会長）

△高齢者に対する集団接種について▽

北区では当初5月17日（月）開始予定であったがワクチン供給量が少ないため5月24日（月）開始となった。会場は北区民センターと扇町プール。北区医師会では6月20日までの出務確

認アンケートを実施し、本日、出務割り当てを検討した。2会場合わせて計9レーンで薬剤充填・問診・接種・状態観察の役割を分担する。主に問診は医師が、接種は看護師が担う割り当てとなった。しばらくすると個別接種も開始されるが、北区では集団接種を中心に実施したいと考えている。北区民だけでなく大阪市民全体が対象であるため、交通至便であり昼間人口が多い北区は接種希望者が多くなることが見込まれる。コロナ蔓延状態での集団接種でクラスター発生の不安と、救急も病床も逼迫した状態でアナフィラキシーショックなどが発生した際にスムーズに救急搬入できるのか等の懸念材料がある。

#### ◇各病院、診療所の状況

- ・北野病院（福井基成理事）：コロナ病床は満床で、陽性が出ても他施設へ依頼せざるを得ない、医療崩壊直前の状態。
- ・住友病院（林三千雄委員）：15床満床で増床計画中であるが大阪府からの要請にこたえられない状態である。若年層が多い。

- ・本出肇副会長：気管支喘息とコロナの合併症状の患者の救急搬送について報告。

- ・澤田宏子総務部長：紹介先の病院が満床状態であるため大阪市民以外は診察を断っている。職場クラスター、若年層の利用者が多い梅田周辺の商業施設のスタッフの感染や、堀川小学校では家族内感染が目立つ。保健所は電話が繋が

らない。

- ・古林敬一委員：梅毒が増えている。
- ・太田祥彦専務理事：何か陽性が出ている。呼吸困難など救急の場合の対応を保健所に問い合わせても各々で対応するように言われた。

都竹正信委員：ビジネス海外渡航の状況は、出張は無いが赴任の動きは変わらずある。コロナワクチンの前後2週間は他のワクチンを接種できないので、今後、通常なら海外渡航前に接種するワクチンを接種しないまま海外出張するケースがあるのでは。

#### ◇医療従事者の優先接種について

開業医に対する優先接種の状況は、高齢者への集団接種が始まる5月24日までは、高齢者接種協力機関の医師（接種順位第5位）への第1回目の接種は間に合いそうである。

北野病院での職員への接種では、若い年齢のスタッフに発熱などの副反応はあるが、職員1,700名にアナフィラキシーショックは発生していない。

#### ◇北区役所との集団接種シミュレーションについて

5月17日午後1時30分より行なわれる北区役所との集団接種シミュレーションには出来るだけ多くの参加を頂きたい。北野病院救急部へは北区役所からも参加の依頼がされている。

北野病院は救急部の現状を考慮すると当日の参加は困難。住

友病院救急部は参加できる可能性もあるとのこと、後日検討して文書で依頼する予定とする。

◇その他

澤田宏子総務部長より、自院での個別接種を6月頃から予定しているが、予約キャンセルなどでワクチンが余った際に近隣の歯科医の医師やスタッフに分けたいと思うので、六師会で提案して頂きたい、との意見があった。予診票が届いているかどうかの問題もあるが、田淵義勝会長より六師会のメンバーへ提案する。

第11回感染委は第4波がようやく終息し、第5波の兆しが見え始めた6月24日(木)に開催されました。

新型コロナウイルス感染症に関して

◇各病院からの報告

- ・北野病院(丸毛聡委員)：病床利用率3割程度に落ち着いていたが、この2、3日で7割に急増した。「当院でのCOVID19診療現状報告」(6月16日地域医療支援病院運営委員会資料)Zoom画面共有にて、当院の役割・診療実績・後遺症外来開設のお知らせについて報告があった。
- ・済生会中津病院(安井良則理事)：陽性者数はさほど増えていないが、いま入院して来る患者はホテル療養から症状悪化した患者が多い。

◇コロナ後遺症の対応について

- ・北野病院(丸毛聡委員)：後遺症外来を開設した。ホームページ感染症科のページに掲載している。

◇新型コロナウイルス接種について

①集団接種について(太田祥彦専務理事)

- 北区役所と打ち合わせを重ね、5月24日から北区民センターと扇町プールで高齢者を対象に開始した。平日1コマ、土曜日曜3コマで週に11コマ×9レーン稼働している。開始当初は平日1300人/日、土曜日曜2400人/日だったが現在は平日3000人/日・土曜日曜9000人/日となり、6月22日までに計7、1000人への接種が済んだ。今後は月に約1万人への接種を予定している。
- ・集団接種における問題点がいくつか挙がった。(観察担当医師の人数、問診での接種の可否に関するもの以外の質問、1回目副反応における見合わせ判断の基準など)
- ・土曜日午前中の出務者が不足している。↓北野病院でも土曜日限定になるが希望者を募り協力したい。
- ・出務者をまんべんなく選定する事が難しい。各病院へは個人名ではなく人数のみで出務枠の確定をお願いする方式もよい。

②個別接種について（澤田宏子総務部長）

サテライト型発注の仕方、救急用物品の配布、予約、ワクチンの保管、接種当日の課題、接種実績報告と請求について、配布資料に沿って詳細な報告があった。個別接種開始前準備の段階から混乱が続いていた。

診療所には問い合わせが殺到し、事務的な心配事も多く、通常診療に大きく影響が及んだ。

③その他

・ワクチン接種後のアナフィラキシーショックについて  
現在までに集団接種会場と北野病院ではアナフィラキシーショックは発生していない。

・済生会中津病院では一般接種を7月19日から開始予定。

・ワクチン接種後の抗体価検査について。

・今後インド株の増加が危惧される。

・集団接種でアナフィラキシーショック既往等のため接種見合わせとした対象者については、会場から済生会中津病院地域連携室へ相談対応可。

・集団接種では現在ファイザー社製ワクチンを使用しているが、大阪市では早ければ7月にモデルナに変更するという話が出ている。来週、北区役所区長と面談予定。

第12回 感染委は第5波がピークアウトしたころの9月9日（木）に開催されました。

1) 新型コロナウイルス感染症に関して

◇各病院からの報告

病床の変換、増床について説明があった。

・北野病院（福井基成理事）：中等症17床・重症2床。大阪府からの要請で増やしている。9月10日からは小児2床、妊産婦2床を開始する。子供の感染から始まる家庭内感染による諸問題に危機感を持っている。病床数よりスタッフ不足の問題が大きい。治療法は定型化している。

・済生会中津病院（安井良則理事）：入院約500名のうち100名が今年7月からの入院。36床うち重症2床。全て埋まることはなく、常に回転している。2回接種済みで感染した例が3例あるが重症化は無い。ICU工事中で9月26日から7床開始する。

・住友病院（林三千雄委員）：中等症17床、重症1床。内科や外科からのチーム編成で対応している。ICU工事中のため現在4床しかなく、救急が頻繁にストップしてしまっている。

◇コロナ後遺症の実際について

・北野病院（丸毛聡委員欠席のため福井基成理事より）：食

欲不振や全身倦怠感など。後遺症外来は、かなり先まで予約が埋まっている。

◇新型コロナワクチン接種について

①集団接種について（太田祥彦専務理事）

各先生方のご協力を得て、5月24日から開始し8月8日で終了した。北区民センターと扇町プールでファイザー社製ワクチンを約23,000回接種。救急搬送4例あり、うち明らかなアナフィラキシーショックは2例あった。問診表には造影剤使用にて心肺停止ありと書かれていた。アレルギー対応の重要性を感じた。

オプザーバー北区役所健康課岩崎透課長より、医師会の先生方皆様には多大なご協力を頂いたことへのお礼と、今後医師会への協力要請は無いが9月27日から扇町プールを含む大阪市内4か所でモデルナ製ワクチン接種を開始するお知らせがあった。

②個別接種について（澤田宏子総務部長）

作成資料に基づき、個別接種の現状や接種希望者への接種予約方法の案内についてなど報告があった。ファイザー社製ワクチンの供給不足により澤田内科医院では個別接種を

終了した。

③その他

・オプザーバー参加の北区役所保健師 西村雅世氏より、保健所業務について

北区では現在約200名の自宅療養者を支援している。かかりつけ医がいらない若年層でオンライン診療の希望者が多い。支援終了の10日間を過ぎても症状により終了時期の判断が難しい。また、子供の感染が増えて家庭内感染の対応も厳しく入院や宿泊療養がスムーズにいかない。先生方のご協力をお願いしながら患者への支援をしていきたい。

・今年のインフルエンザワクチンについて

・学校医としての学級閉鎖の基準などの対応について

第13回 感染委はオミクロン株による第6波の兆候があらわれた12月16日（木）に開催されました。

◇新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）について

・3回目については医療従事者も接種券付き予診票が居住地の市町村から送付される。市内では大阪市が設置するモデルナ集団接種会場と、別紙資料にある個別接種医療機関での対応となる。北区の病院ではちょうど今頃から医療従事者への3回目接種が開始され始めている。

・明後日12月18日(土)に開催する第4回理事・班長会に向けて、班員に対して「新型コロナウイルス追加接種(3回目接種)についての質問」、「新型コロナウイルス感染症の後遺症についてお困りの症例」アンケート調査を実施した。今までになく多数の質問が寄せられた。内容は配布資料のとおり。質問への対応は第4回理事・班長会当日に安井良則理事にもコメントをお願いしたい。

・変異株に対するワクチンの効果について。  
・全国的に梅毒が増加しているが大阪では昨年並み。  
以上です。今年こそコロナ感染症以外のテーマで感染委を招集したいものです。

◇最近の感染症の動向について(安井良則理事より)

済生会中津病院 安井良則先生より、スライドPPT映し出しで説明があった。RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、ノロウイルス、梅毒、インフルエンザなどの週別推移や都道府県別グラフで最近の動向についての詳細。

◇ワクチンの情勢について(安井良則理事より)

上記に引き続き、安井良則先生よりスライドPPT映し出しで新型コロナウイルスワクチン、感染経路、オミクロン株などについて説明があった。

◇その他

・北野病院や済生会中津病院では11月初旬からPCR陽性者は出ていない。